

インターネットで次世代を 目指す産廃ビジネス



平沼代表取締役

有限会社平成興業

(愛知県海部郡蟹江町)

全国産業廃棄物連合会で、優良従事者表彰を受けた平成興業は、サーマルリサイクルに力を入れています。蟹江インターを降りてすぐのところにある平成興業に平沼社長を訪ねました。

——会社設立の経緯を教えてください。

平沼代表取締役(以下、平沼に略)「もともと平沼組だったんですが、平成元年に社名を現在のものに変更しました。メインは解体業なのですが、解体に伴う産業廃棄物の処理も付随して行うようになってきたんです。解体、収集運搬から中間処理、リサイクルと一貫したかたちで進めている解体業者は、全国では無論たくさんあるとは思いますが、愛知県内では比較的少ないんじゃないかと思います。」

——業務全般における将来展望はどのように考えられていますか。

平沼「処理には水冷のボイラーを使っているのですが、これはきれいな水を使用していますので熱の有効リサイクルとしてスーパー銭湯のようなものを併設できないか模索中です。なかなか単独では難しい点も多いので提携企業を探しているのですが。また実は当社にはコンピュータ関係に精通している者がおまして、最近インターネットで平成興業のホームページを作りました(<http://www.amitaj.or.jp/heisei-k>)。当社の業務内容の紹介をパソコンで見えてくれるお客様もこれからどんどん増えていくのではないでしょう。」

——ところで話は変わりますが、趣味は何かありますか。

平沼「趣味はゴルフですかね。接待から始めたようなものだったんですが、のめり込みすぎて今では週2回は行っています。息子も現在高校

生なのですが、将来ゴルフの道に入りたいということで本格的な指導を受けているんです。その気ならアメリカにでもゴルフ留学をさせようかという話も出ているんですよ。まあ次世代の経営者というものは、色々なことを経験していかないと駄目じゃないかと思えますね。色々な分野でかたちを考えて、昔からよく言う「可愛い子には旅をさせろ」という心境ですか。何年か後になるか、インターネットで仕事ができるようになれば、ひとつの分野だけじゃない経験が生きてくると思えます。」

——最後に社長の企業理念をお聞きかせ願いたいのですが。

平沼「企業をノルマ制で考えるのではなく、できる人は残るしできない人は居なくなる。いつまでも親方日の丸じゃないですから、実力主義ですよ。特に若い人はそういう意識を持っていますね。マニュアル的ではなく、新しい発想でいく。私でも間違っていたら固持するのではなくごめんなさいと謙虚に言わなければなりません。それが従業員を育てる得策です。」



社名/有限会社平成興業 所在地/愛知県海部郡蟹江町大字今字八島75-1
代表者/平沼健一 創業/昭和53年 従業員/30名 TEL/05679 (6) 0885
事業所/本社、名古屋支店、津島焼却センター、豊橋支店
営業種別/中間処理、収集運搬 取扱物品目/廃プラスチック、紙くず、木くず、
繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、陶磁器くず、建設廃材